

# 令和6年度 町職員の 人事異動

敬称略、( ) は旧職名

退職(令和6年3月31日付)

- 川田 志津恵(町民税務課長)
- 行方 健二(福祉保健課長)
- 増山 直樹
- (まちづくり課 上水道担当課長)
- 永野 祥望(まちづくり課 主幹)
- 異動など
- 一般行政職7級(震害復興課)
- 町民税務課長
- 篠塚 誉
- (町民税務課 副主幹兼課税係長)
- 福祉保健課長
- 土屋 裕利
- (まちづくり課 副主幹兼環境水道係長)
- まちづくり課 上水道担当課長
- 小川 慎也(千葉県より)
- 一般行政職6級(副主幹)
- まちづくり課 副主幹兼道路建設係長
- 鈴木 雅人(企画空港政策課 副主幹兼市街地整備係長)

- まちづくり課 副主幹
- 伊介 優(千葉県より)
- 一般行政職5級(係長・主査)
- まちづくり課 地籍調査係長
- 秋庭 淳美
- (町民税務課 国保年金係長)
- 町民税務課 課税係長
- 吉川 正樹
- (産業振興課 産業振興係長)
- 産業振興課 産業振興係長
- 石井 淳也
- (まちづくり課 道路建設係長)
- まちづくり課 環境下水道係長
- 山崎 順平
- (まちづくり課 上水道係長)
- 町民税務課 戸籍係長
- 平井 沙織
- (まちづくり課 地籍調査係長)
- 町民税務課 国保年金係長
- 奥貫 努
- (町民税務課 戸籍係長)
- 一般行政職4級(副主査)
- 総務課 情報公聴係
- 井口 智弘
- (産業振興課 農政係)
- 総務課 自治振興係
- 細田 真秀
- (まちづくり課 環境下水道係)
- まちづくり課 環境下水道係
- 石橋 佑介(総務課 自治振興係)

- 教育課 学校教育係
- 伊藤 秀樹(千葉県より)
- 一般行政職3級(主任主事)
- まちづくり課 道路建設係
- 石橋 将(農業委員会)
- まちづくり課 道路建設係
- 似内 陽介(総務課 財政係)
- 農業委員会
- 平山 仁大
- (町民税務課 収税係)
- 産業振興課 農政係
- 青木 美紀
- (総務課 情報公聴係)
- まちづくり課 上水道係
- 向後 卓馬
- (まちづくり課 道路建設係)
- 町民税務課 収税係
- 松田 亜加莉
- (企画空港政策課 空港地域振興係)
- 医療職3級(主任保健師)
- 福祉保健課 地域包括支援センター
- 寺島 菜津子
- (福祉保健課 保健衛生係)
- 保育職員関係3級(主任保育士)
- 第一保育所 主任保育士
- 鈴木 望美(第二保育所)
- 第二保育所 主任保育士
- 田中 莉沙(第一保育所)



## 令和5年度末 教職員人事異動

- 芝山小学校
- 〔転出〕
- 教頭 市東 英之(千葉県教育庁 上総教育事務所)
- 教諭 伊藤 秀樹(芝山町教育委員会)
- 教諭 林 伸一(豊成小)
- 養護教諭 小高 亜矢桂(上堺小)
- 講師 郡司 貴央(福岡小)
- 講師 安孫子 栄子(成東小)
- 講師 水野 由美子(横芝小)
- 〔転入〕
- 教頭 藤田 真由美(成東小)
- 主幹教諭 中村 浩之(九十九里町教育委員会より)
- 教諭 越川 友貴(上堺小)
- 教諭 石川 やよい(新規採用)
- 教諭 松下 桃花(新規採用)
- 講師 平山 陽一(大網小)
- 講師 梶 梨緒(鶴枝小)
- 芝山中学校
- 〔転出〕
- 教頭 佐瀬 貴弘(大網中)
- 教諭 山本 竜也(佐倉南高校)
- 〔転入〕
- 教諭 深山 守(東金中)
- 講師 大塚 充成(東金中)
- 教頭 八巻 隆介(光中)
- 教諭 大網 功樹(東金西中)

教諭 佐竹 洋子(山武望洋中より)

講師 齊藤 隼(光小より)

## 五木田教育長が再任

3月31日で任期満了となった町教育委員会教育長について、4月1日付で五木田啓一さんが就任(再任)しました。



## 大沼教育委員が就任

教育方針の決定や教育財産の管理など、町の教育行政において大きな役割を担う教育委員会、4月1日付で大沼佐和子さんが教育委員に就任しました。



## 芝山小学校 心のバリアフリー教育 グッドプラクティス顕彰 優秀賞受賞



令和5年度、芝山小学校では、障害のある方や高齢の方、外国の方々との交流体験活動を実践しました。その取り組みを千葉県教育委員会のグッドプラクティス顕彰に応募したところ、優秀賞を受賞しました。

芝山小学校では、これからも、互いの人格や個性を認め合い、支えあっていく社会を目指して、心のバリアフリーの教育を推進していきます。

「心のバリアフリー」とは  
様々な心身の特性や考えを持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うことです(「ユニバーサルデザイン2020 行動計画(2017年2月ユニバーサルデザイン2020 関係閣僚会議決定)」より)。



実施内容の一部  
[車椅子体験]  
児童の感想: 車椅子体験では、曲がったり段差が上がったりするときに難しく、足の不自由な人の気持ちや生活する上で大変さを感じた。自分の思う通りに動けなかった。



[外国人インタビュー]  
児童の感想: 相手の目を見て話すと自然と笑顔になれ、よりよいコミュニケーションが取れた。この先、外国の方とコミュニケーションを取るときに役に立ちそうだった。